

【平成29年度】

HASECは創立6年目を迎えました。1年生が7名加わり、全部で18名となりました。今年度も「英語を楽しむ気持ち」と“Make friends”を大切にしていきたいと思えます。



◆ハセックとは

本校は、平成24年度と平成25年度、「英語力を強化する指導改善の取組み」を実施する拠点校として、文部科学省から県内4校のうちの1校に指定を受けました。

このとき、英語に興味を有する生徒の意欲や能力を、授業以外でもさらに伸ばせる場として、英語科で立ち上げたのがハセック (**Hachiman After School English Circle・放課後英語サークル**) です。つまり、入会すると、部活に加入しながら週1回、英語力を授業以外で鍛えられるというメリットがあります。

近江商人発祥の地として歴史的にも有名な近江八幡市には、英語で海外に発信できる材料がたくさんあります。ここ数年注目されてきている「アクティブ・ラーニング」の学習環境も大切に、世界的視野で見聞を広めてほしいものです。

今年度のALTも、昨年度に引き続き、日本の生活にもすっかり慣れた、米国ミシガン州出身のニア先生です。

◆活動内容

■平成29年4月19日（水）見学会 新1年生10名以上が見学に。

放課後、新入生による見学会を兼ねて、今年度最初の活動をおこないました。新入生オリエンテーションで1年生全体に説明を終えていたので、入会意欲満々で会場の英語教室に入ってくる生徒、廊下で様子を窺っている生徒、「英語が話せないと入れませんか？」と真面目な顔で聞く生徒など、さまざまでした。

ALTのニア先生も来られ、簡単な英語による自己紹介とALTによる質問もおこないました。しかし、いざ自分の発表となると、緊張からか、発言内容を手元のメモに記入する、真剣な新入生もいました。

部活とHASECとの両立は厳しい部分もありますが、頑張ってもらいたいです。

■平成29年4月26日（水） 1・2年生メンバー13名参加。

先週の見学会を受けてメンバーが正式決定し、今年度は、新入生7名を含む18名体制となりました。また、指導する英語科の教員も4名に増えました。今年度も、可能な範囲で昼休みにHASEC活動を取り入れ、放課後、部活に参加する生徒が時間を確保できるよう配慮していきます。

さて、今日の活動ですが、前半は、メンバーの自己紹介。新1年生が、「出身中学校」「HASEC入会動機」「将来の夢」「趣味」など、独自のPRを含めながら、英語で自己紹介をしました。発表内容について、2年生やニア先生から質問を受けていました。最後に、ニア先生自身も生徒に分かりやすい英語で、日本での滞在経験を語っていました。メンバーの中には、中学時代にミシガン州内の都市への短期留学をしていたり、ミシガン州出身のALTから授業を受けた者もいて、盛り上がりました。

後半は、ゴールデンウィーク直前ということで、連休中の計画についてのディスカッションを行いました。単に予定(what)を述べるだけでなく、何を期待しているか(so what)、何故するのか(why)、どのようにするのか(how)等を意

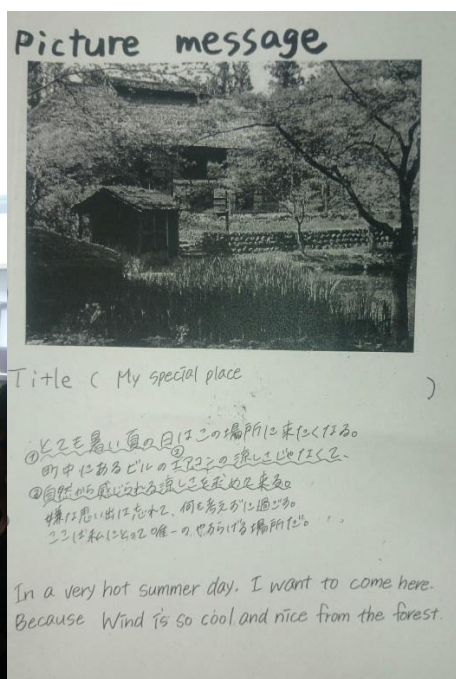
識して発表するように進めていきました。



今年の1年生は、失敗を恐れず、積極的に話しかけるメンバーが多く、最初は黙りがちだった生徒も、徐々に口を開いていきました。サロンの雰囲気の下、「英語を楽しみながら英語力を伸ばしたい」という前向きな姿勢が、はっきりと見受けられました。

■平成29年5月24日（水） 1・2年生メンバー10名参加。

今回は、'Picture Message' と題して、写真が発するメッセージを英語で表現するという、俳句作成の準備活動とも位置付けられる活動をおこないました。



使用したのは、静かな森の中に佇む家屋（東屋？）の写真で、活動の際にはわざと白黒写真にして、カラー写真ならどのようなものになるかを考えながら取り組みました。いわば、「想像しながらの創造」です。

メンバーは、まず、写真から受けた印象について、日本によるメッセージを書きます。そして、それに基づいて、英語で表現したい該当箇所3か所にアンダーラインを引き、3センテンス（もしくは3フレーズ）で英語にします。その際、文法にあまり拘らなくてよいことになっていて、キャプションを制作している詩人になった気分に取り組むよう促しました。最後に英語でタイトルをつけて完成です。

自由に明るい写真を想像したメッセージや、逆に寂しい情景をイメージした作品など、さまざまでした。全員が完成したら、一人ずつ発表。それぞれの工夫点や面白さなどをメンバー同士で話し合いました。終了後、ALTにも読んでもらい、コメントを記入してもらいました。

■平成29年5月31日（水） 1・2年生メンバー11名参加。

■平成29年6月 7日（水） 1・2年生メンバー 8名参加。

春季高体連、高文連の前後で、まとまった時間がありませんでしたが、ミーティングをおこない、今年度の本校の文化祭で発表をするかどうかの話し合う時間を持ちました。

その結果、英語によるミニドラマ、近江八幡市の名所を紹介する英語プレゼンテーション、映画『High School Musical』の一場面をアレンジしたダンスの三つを15分程度にまとめて発表することに決定しました。

引退した3年生2名を入れての卒業アルバム用写真撮影も行われ、1年生メンバーは3年生メンバーから激励を受けていました。



昨年はあまり士気が上がらず、発表まで至らなかった分、今年は頑張っ
て素晴らしいステージにしてほしいものです。

■平成29年7月 5日（水）八幡高校文化祭 @野洲文化ホール

1・2年生メンバー15名参加。

文化祭を前に、八幡高校には、滋賀県高校生海外相互派遣事業、ミシガン州より 그레이シーさんがやってきました。彼女はハセックメンバーの北村さん（2年生）宅にホームステイしながら本校に2週間ほど通学します。

文化祭準備も着々と進み、台詞は生徒の意見を中心にして、英語科教員のアドバイスの下、作成していきました。ダンスは、1年生が中心になって考案しました。かなりレベルの高い内容でした。また、ミニドラマやダンスには、留学生の 그레이シーさんやニア先生にも登場してもらうことになり、急遽台詞の追加もおこなわれました。二人は時間が不足する中、放課後やホームステイ先で、頑張って練習を積み重ねました。



さて、いよいよ文化祭本番です。

内容を簡単に要約すると、以下のようになります。

(シーン1)

近々留学生を迎えることになった、英語に自信のない高校生A。彼女の友人の高校生Bは、Aに、「ハセックで英語を学べば英語が楽しく学べる」ことをアピール。

(シーン2)

1年生メンバー7名全員が、パワーポイント画像を使いながら、八幡堀や近江牛など、近江八幡市の名所や特産品を英語で紹介。

(シーン3)

High School Musical でオリジナルダンス。

(シーン4)

高校生A、B、その他高校生、留学生（ 그레이シーさん）が登場。ニア先生も入って、英語はやはり楽しいことをアピール。



メンバー達は、やや緊張しながらも、ミニドラマ演技では表情豊かに、覚えるべき英語の台詞は覚え、プレゼンテーションでは表情や声に感情を込め、ダンスではのびのびと発表しました。シーン3からはニア先生と 그레이シーさんが、さらにシーン4では、松澤校長先生も生徒役で参加してくださり、会場は笑いどよめきに包まれ、大いに盛り上がりました。

■ニア先生、本当にありがとうございました。

文化祭でのハセック発表直後、ニア先生が来月上旬に帰国される旨、吉居教

頭先生から紹介があり、ニア先生は日本語によるラストスピーチをおこないました。

彼女の日本語スピーチは、1分を超える長さにおよび、会場からは万雷の拍手が沸き起こりました。もちろん、発表文は、全て本人が作成しました。

日本の高校生が英語で、アメリカの先生が日本語で。舞台上で、そして目の前で、まさに「異文化・異言語交流」が繰り広げられている様子でした。



全員が理解するまで机間支援をおこない、分かりやすく丁寧な授業をおこなってくださったニア先生。職員室や通勤電車の中で、コツコツと日本語を勉強してきたニア先生の努力はもとより、先生の優しいお人柄は、観客席の800名を超える八幡高校生に、しっかりと伝わったことでしょう。

ニア先生、ミシガン州にお帰りになっても、お身体に気を付けて、日本での経験を最大限生かしながら、次なる目標に向かって頑張っていたいただきたいと思います。

本当に、3年間、ありがとうございました。

■平成29年7月27日（木） 1・2年生メンバー 3名参加。

夏休みに入って最初のハセック活動日でした。進学補習等もあり、午後実施にしたものの、3名という少なさでした。しかし、少人数だからこそ、密度の濃い内容となりました。

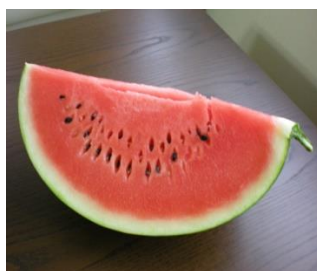
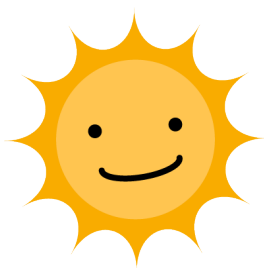
1時間30分の活動時間を、おおよそ30分ずつ、3部に分けました。

第1部では、英語で1学期を振り返り、夏休みの楽しみ（計画）などを英語でフリートーク。内容も深まり、話題の切り替えもテンポ良く進み、「K-ポップや関ジャニ∞のコンサートに行く」「親戚が集まってバーベキュー」「海外研修に向けて英会話の力をつける」などバラエティに富んでいました。

第2部は英検準2級の過去問にチャレンジしました。今後、センター試験の廃止を受けて、四技能型の外部試験の重要性が報じられている英語教育界。ハセックでも、アウトプット力に加えて、英語の基本的な文法力や読解力は軽視

すべきではないと考えていて、英検受験を推奨してきています。

そして第3部では、英語俳句にチャレンジしました。5月末の活動で、“Picture Message”を既に関験し基本を理解しているので、過去の入賞作品をみんなで吟味し、メンバーの自宅周辺の「夏の風景」を思い浮かべながら、夏の句を一人一句作成しました。いつも、文法に忠実にSVOなど文型を意識して英文を書く習慣がついているのか、自由に書くことが逆に難しかったようでしたが、最後は自分の作品を発表し合い、俳句の面白さを共有しました。教員も即興で句を作成し、生徒に示しました。



early in a summer morning
opening the window hears
cicadas' happy songs

夏の朝
窓を開ければ
蟬のうた

